


派遣報告書

平成28年10月11日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員

坂井 徹 

次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1 派遣期間	平成28年10月2日(日) から平成28年10月5日(水) まで
2 派遣先	① 相模原市 務利心こ保育園 ③ 横濱市 特別養護老人ホーム 芙蓉苑 ② 柏江市役所 ④ 東京都 三浦市 介護福祉センター
3 視察(調査) 議員名	坂井 徹
4 面会者	漆川 石刺の通リ
5 派遣目的	① ② は公立保育園の民営化について ③ 介護用ロボットの活用について ④ 24時間訪問介護の実態把握について
6 視察の経過及び感想	別紙の通り
7 添付書類	別紙の通り
(1)	
(2)	

要した経費： / 人合計 92,500 円

1. 橋本りんご保育園視察の感想 (保育園の民営化について 伊藤理事長、園長と 9:30~11:30 面談)

保護者と行政の話し合いが 2年くらい経つのに TV 放映中であり大変興味深かったので 参考事例として研究の為視察。

- 1-1. 7園と各大学の社会福祉法人 菊清会 そのほかりんご保育園の園長、理事長の理念が素晴らしい。職員の間も 方向性が保護者に安心感を与えていると感じた。
- 1-2. 保育園は地域コミュニティの拠点でありたいとの考えのもと、個性を踏まえた保育理念に基づき 異年齢保育で 独自性を打ち出している。
- 1-3. 民営化後12年経過しているが 今後地域にとりては存在を、保育園に位置付けられている。

<調査内容>

- ① 民営化指針にどう応じているのか。
- ② 公立に対し民営のメリットの奏議の仕方。
- ③ 三者(保護者、行政、法人)の連携方法。
- ④ 引継ぎ業務委託の仕方
- ⑤ 引継ぎマニュアルの内容
- ⑥ 民営化後 変革点について 他

<添付資料> 3枚あり。

ス. 公立保育園民営化の懇話調査の感想 = 狛江市役所 =

(児童青少年課 鈴木課長. 垣内主任. 加藤議会事務局次長 小川議長と 14:00~15:30 面談)

※ 3年前に芙蓉党市長時代から期終り 民営化の動きがタブー視されていたが 財政的に苦しい(市) 現市長に変わって平成26年より 公共施設の再編計画の一環として大々進めようということになった。

1. 公立保育園6園のうち2園の民営化方針を打ち出し
28年4月 民営化済みのみやび保育園は15回. 29年4月 民営化計画予定の和泉保育園は
これ迄9回の三者協議会をもち移行のスムーズな流れを作ろうと努力しておられた。

↓
方針は以上で 徹底的に理解と納得の行動を続けられています。

2. 民営化ガイドラインの保護者への説明とこれに対する意見を保護者から募りガイドラインに反映し
は反映し. 選定委員会が保護者からの意見を報告し 次の選定委員会にて修正版を作り それを
保護者へ配布し意見を伺うほど多大の努力のあとが見られました。

- < 添付資料 >
- 民営化移行計画
 - 民営化の指針
 - 民営化の経過
 - 引継ぎ保育配置計画
 - 民営化に伴い 配慮が必要な事項について
 - 民営化ガイドライン
 - 運営法人募集要項

< 調査内容 > 橋本りんご 保育園で尋ねた事項と同様。

2. 芙蓉苑の介護用ロボットの活用についての視察の感想

(芙蓉苑 小林施設長、神奈川県福祉部 山本主任と面談及び施設内見学)

神奈川県の「さがみロボット産業特区」内の芙蓉苑だよりにて、この先端技術を利用して介護ロボットの実証実験場として活用されている介護技術の見直し、様々な福祉用具の開発と合わせ、将来的には介護現場へのロボット普及も期待されているが、現時点ではロボットが及ぼす効果が、職員の手が軽減される休憩につながる点がある。自分で世話を要する部分とロボットで対応する点に、本当に効率化と入所者の安心感につながっている点に感じると共に、ロボットが高価であり(40万~70万/台)民間病院、個人宅での導入は難しいだろうと感じた。

<添付資料>

平成28年度 介護ロボット導入推進一覽

芙蓉苑 施設案内

神奈川県 5<5<介護宣言

4. 24時間訪問介護の実態調査報告に翔の感想

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 岩名部長、清水主任研究員と面談)

- 4-1. 導入の為に条件として人口密度はそれほど問題ではないが営業エリア内に高齢者の密度が高ければ利用者がエリア内に最低20人(軒)はないと事業として成り立たない。しかも各々車で10分以内で移動出来る範囲に利用者宅のありを求められている。
- 4-2. 24時間訪問介護はヘルパーが何度も自宅を訪問するが料金は利用回数に限りなく定額のため特養規模は大きい施設が可能でパパ、ママジョブ的形態での対応が難しい。
- 4-3. 24時間介護の為に在宅を好んで居る社会福祉施設があるかどうかは問題ではない。果に、倉吉市内に体系的にそのような施設が充ちていないのが残念な感じだ。

< 添付資料 >

- 定期巡回・随時対応サービスの地域特性とマネジメント
- " の普及に向けた保険者の対応
- " をめぐる「10」の誤解